

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第1回中央地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)				
開催日時		令和元年5月14日(月) 19時00分~21時00分				
開催場所		中央公民館コミュニティ室				
出席者	委員	20人(別紙のとおり)				
	その他	3人				
	事務局	3人(本庁地域まちづくりセンター)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 役員選出 3 事務連絡 (1) まちづくり会議について 4 議 題 (1) 今年度の中央地区まちづくり会議について (2) 中央地区地域活性化事業交付金事業報告会開催結果について (3) その他 5 閉 会				

# 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

## 1 開会

- ・平成30年度中央地区まちづくり会議会長の牛尾委員からあいさつ
- ・藤田中央区長からあいさつ

## 2 役員選出

役員について、次のとおり決定した。

役員名	氏名
会長	牛尾 良一
副会長	徳田 文夫
副会長	岡本 和茂

## 3 事務連絡

### (1) まちづくり会議について

事務局から、まちづくり会議及び関連事項について、資料に基づき説明した。

## 4 議 題

### (1) 今年度の中央地区まちづくり会議について

事務局から、昨年度の中央地区まちづくり会議での議論を基に、地区における課題を抽出した一覧資料について説明した。

次に、会長から上記の一覧資料を基に地区における課題の確認を行った。その後、新たな課題や今後の会議の進め方について委員に自由意見を求めた。

○メディア等で今年度、神奈川県警が交番を70か所減らすとの方針を聞いた。  
相模原市に対して具体的な打診等があったか。

区役所としては具体的な情報は承知していない。

○交番削減について、インターネット上に情報が出ている。今年は計画を作る段階で東京オリンピック後に10か所減らすところから始めるとのこと。背景としては本日の会議でも出たとおりで、人が足りないことが一番の理由のようである。いずれにしても、現段階ではどの地域の交番が減るかは不透明なため、まちづくり会議としては、万が一、中央地区内の交番が削減された際に対応できるように、課題や対応方法等の整理を行っていくというアプローチがよいだろう。

○先ほど会長から説明して頂いた課題について、非常に課題の幅が広がっている印象を受けた。現状のままで課題解決のための取り組みが可能なものもあれば、解決が非常に難しい課題もある。このため、もう少し課題を整理し、必ず実行に移すものや解決が困難であるもの等を分けて考え、地域単独での分科会等での議論も取り入れながら、会議を進めていく必要があると考える。また、一見同じような課題でも、中身が異なるものもある。市の方で一つの進め方やガイドラインのようなものを提案してもらうのも大事だろう。

#### 【公園の問題を中心とした意見】

○松田委員から公園への健康器具の設置に関するご提案を頂いている。これについてはお金も掛かることであり、全てが実現できるとは考えていないが、モデル的に実践してみたい。また、それを使って高齢者の健康作りや地域活性化に派生していければよいと思う。

○中央地区の公園には子どもの遊具はあるが、大人も使える健康器具はないと認識している。厚木市などでは市が主体となって健康器具の公園への設置を行っている。市が主体とならなければ難しい内容だが、設置に向けたきっかけになるような取り組みを行いたい。

○いっぺんにやらず、まずはどこかモデル地区を選定して、その中で提案者が委員長となってもらい分科会等での検討を進めていく形がよい。提案者に負担が集中しないようにしたい。

○健康器具の話からは少しそれるが、淵野辺公園の樹林広場内にある風っ子砦という木造遊具の老朽化に伴い、市が更新に向けて周辺住民への意見聴取を行った。その際、トイレが不衛生な点など、公園についての他の問題も担当に申し入れたが、意見を聞くだけで何の連絡もなかった。

○公園内の一部機能の廃止などについては、こども会等には話がきているかもしれないが、地域として事前に話ができる体制を整えなくてはならない。

○公園というものは子ども達やシニア層にとって非常に重要なものである。健康器具に限らず、地区内の公園の在り方にそれぞれ思うところがあるようだ。今後、公園というものを課題として取り上げるのであれば、中央地区の公園の現状を把握し、将来的にどのような形としたいかをまとめるところから始めたい。これにより、最終的に実行できたのか、あるいはできなかったのも含めて、実際に行った取り組みの評価ができる。そういった道筋を自分たちで作らないと中々収穫あるものにならないと感じる。また、公園というものを一つの議題として取り上げて、そこから関連して他の地域課題が見つかった場合、検討してみるのもよいのではないかと。

○公園課が何かを始める時に十分に地域に情報が下りてきていないように感じる。まちづくり会議等を通して、地域に情報が下りてくる体制を整えることも

大事かもしれない。

- 健康器具の件をきっかけに分科会を立ち上げて、公園問題の実態を調べ上げ、事業等に結び付けていければよいのではないか。健康器具の件は今回、委員から提案のあったものであり、プロジェクトのような形で今後につなげていきたい。

#### 【交通事故の問題を中心とした意見】

- 個人的な意見だが、交通事故対策に手を付けた方がよいと思う。お年寄りや子どもへの事故への対策を中心に考える必要がある。
- 一言に交通事故と言っても様々な形態がある。自転車事故なのか自動車事故なのか、ある程度範囲を絞って検討していくべきだろう。
- 中央地区での発生状況に鑑み、自転車事故を対象に注力するのが良いだろう。自転車が車道の右側を通行しているのが散見される。南区では自転車通行帯の進行方向に矢印が付いているが、中央地区ではあまり見かけない。このような部分の改善を中央地区として要望していてもよいのではないか。
- 一昔前は小学生や中高生の自転車マナーがあまり良くなかったが、最近は改善されてきている。しかし、依然として改善が図られていないのが高齢者のマナーである。小中学生を対象とした自転車安全運転講習などはある程度実施されている様子だが、高齢者を対象とした取り組みは不十分だと感じる。最近は電動自転車に乗る人が多くなり、それが事故の増加にも繋がっていると思う。今後は講習を受けないと電動自転車に乗れない等の規制を掛けないと自転車事故は減っていかないと思う。ある程度、厳しさを持ってやっていかなければいけない。
- 地域として何ができるかという視点で考えた際に、地域内で教育をしていくことは出来るかもしれないが、制度を作ることは出来ない。また、中央地区で自転車に乗っている人は中央地区の人だけではないことも、検討を進める上で考慮しなければならない部分である。総じて、交通事故を一つの課題として取り上げて検討することについては賛成だが、中々難しい課題とも感じる。
- 小中学生に対する講習等は、警察が結構しっかりと指導をしてくれていると思うが、高齢者や一般人を対象とした事故対策を行うにあたっては、やはり自治会に加入してもらうということが必要だと感じる。そして、自治会ごとに自転車訓練などを実施していき、交通ルールを広めていくしかないと思う。
- 自転車事故も重要な地域課題である。今後、検討チームを発足して進めていければと考える。
- 意識の問題として、この会議に出席している委員全員が自転車事故の保険には加入しているのか。

### 【自治会加入率低下の問題を中心とした意見】

- 自治会加入率の向上が一番の課題。これが全てを解決する方法だと思う。
- まずは自治会加入率低下の原因を調べなくてはならない。

### 【その他の意見】

- 出来るだけ早い時期にいくつかのすぐ実行できる項目をやっていくことが大事なのではないか。また、昨年度問題になった本庁の移転問題も、今後どうなっていくのかという視点で中央地区のまちづくり会議として意見を出してみても良いのではないか。
- 一つの意見だが、西門でも問題となっているのはごみの問題である。いま議論されている自治会加入率低下の原因の一つとして考えられるのは、自治会員であろうとなかろうとごみが捨て放題となっていることだと感じる。ある部分ではごみの有料化を図るなどしないと加入率云々の問題ではない。たとえば、どういうきっかけを作れば自治会の加入率が上がるのかを考える必要がある。
- もう一つは行政エリアと地域生活の区分けを考えなくてはならないのではないか。現状はこうした区分けが曖昧になっているように感じられる。このため、自治会への加入の有無に関わらず、地域の住民に対して十分に情報が行き渡っていない。この会議の場で何かすぐに解決のための実行に移せる訳ではないかもしれないが、地区ひいては市のテーマとして考えていかなければならない問題なのではないかと思う。
- 配布された資料に事業計画が示されていると思うが、次回以降どのように話を進めていくかということを含めていかないと、この会議がまちで見かけた困ったことなどをただ話すだけの場となってしまう。本日出た課題の中でも徹底すればいい事項や取り組まなくてはならない事項、または当面難しい事項等、様々なものがあつた。これらを一定の基準でまとめて実施計画に落とし、望むべきゴールはどこなのかということをも明確に定めて進めていくことがよいのではないか
- 本日の会議で出た課題のうち、中長期的に検討を進めていかなければならないものは課題として蓄積しつつ、他方で、具体的に実行に移せそうなものについては、次回以降、分科会等を設け検討を進める。

### 【提案】

- 会議で思った課題や会議の場で出せなかった思ったことを情報交換できる仕組み作りが必要。情報のキャッチボールが出来る受皿を作り、会議の場で集まってその場で話をするだけでなく、会議と会議の間を補完できる体制を整えてみてはいかがか。
- 会議資料を事前に配布して頂ければ、会議に臨む心構えもでき、かつ、より建

設的な議論になると思う。

○本日の会議でまちづくり会議として今後取り上げていく課題について、次の会議までにそれぞれの委員が、問題の対象範囲は何なのか、将来的な望ましい姿はどのようなものか等の具体的なビジョンを考えて、それを第2回まちづくり会議で持ち寄り、まとめあげて次に繋げていくようなステップにしていければよいのではないか。

○今回、課題として主に挙げられた「公園の問題」「自転車事故の問題」「自治会加入率の問題」については、分科会なりで分けてしまった方が話は進むのではないかと思う。

(2) 中央地区地域活性化事業交付金事業報告会開催結果について

平成31年4月13日(土)に実施された上記報告会の開催結果について、事務局から報告した。

(3) その他

中央高齢者支援センター澤畔委員から「中央高齢者支援センター便り」を配布し、地域づくり部会の進捗等を説明した。

5 閉会

徳田副会長あいさつ

以上

## 第1回中央地区まちづくり会議(5月14日開催)出席委員名簿

	氏名	役職	選出団体名等	出欠
1	牛尾 良一	会長	中央地区自治会連合会	出席
2	高橋 征彦		中央地区自治会連合会	欠席
3	中川 清一		中央地区自治会連合会	出席
4	田坂 正子		中央地区自治会連合会	出席
5	徳田 文夫	副会長	中央地区社会福祉協議会	出席
6	鎌倉 轟		中央地区民生委員児童委員協議会	欠席
7	小金澤 近雄		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
8	今井 千春		中央地区老人クラブ連合会	出席
9	岡野 博		中央地区青少年健全育成協議会	欠席
10	松田 正則		中央地区健康づくり普及員協議会	出席
11	島村 春男		中央地区防犯協会	出席
12	守屋 守		交通安全協会	出席
13	岩下 孝二		中央地区連合自主防災隊	出席
14	中西 智子		中央小学校PTA	出席
15	力石 武史		弥栄小学校PTA	出席
16	佐藤 匠		富士見小学校PTA	欠席
17	岡本 和茂	副会長	中央公民館	出席
18	浦上 裕史		中央地区内商店街	出席
19	澤畔 正裕		中央高齢者支援センター	出席
20	代田 昭		公募委員	出席
21	秋葉 秀二		公募委員	出席
22	倉澤 良明		公募委員	出席
23	木口 榮		公募委員	出席
24	鳥海 千秋		公募委員	出席
25	井之上 久		公募委員	欠席